

(Daily 日本史) ~文化史の流れ~

【問】 2003年 大学入試センター 本試験 日本史A

遊びと芸能の歴史に関するA～Cの文章を読み、以下の問い(問1～12)に答えよ。(史料は、一部省略したり、書き改めたりしたところもある。)

A 「遊びをせんとや生まれけん 戯れせんとや生まれけん」。これは、平安末期に流行した今様を集めた『ア』の一節である。古来^(a)遊びや芸能は、信仰や儀式・祭礼と結びついて発達してきた。

神々に奉納された神楽も古くは神遊^{かみあそび}とよばれたと考えられる。^(b)大陸文化の摂取にともない各種の遊戯や芸能も伝来し、正倉院にはそれに関係する品々が収められている。

平安時代の貴族の間では、和歌や管弦・舞楽などの娯楽が愛好された。また、イをもとに生まれた園社の祭(現在の園祭)をはじめ、年中行事もさかんになった。一方、農耕儀礼から生まれた田楽など、民衆の生活に根ざした芸能も流行するようになり、遊女など、多様な職能をもつ人々が芸能の担い手となった。『ア』も、遊女らの広めた今様を、^(c)後白河法皇が集成したものである。

問1 空欄ア イに入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

1

- | | | | | |
|---|---|------|---|-------|
| ① | ア | 梁塵秘抄 | イ | 本地垂迹説 |
| ② | ア | 梁塵秘抄 | イ | 御霊信仰 |
| ③ | ア | 閑吟集 | イ | 本地垂迹説 |
| ④ | ア | 閑吟集 | イ | 御霊信仰 |

問2 下線部(a)に関して述べた次の文I～IIIについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、以下の①～④のうちから一つ選べ。 2

- I 『枕草子』に、遊戯としておもしろいのは、小弓・碁・蹴鞠^{けまり}であると記された。
- II アメノウズメが天石屋戸^{あめのいわやと}の前で踊ったとする神話を記述した『古事記』が編纂^{へんさん}された。
- III 『鳥獣戯画』に、兎^{うさぎ}や蛙^{かえる}・猿などが水遊びや田楽・相撲に興じる場面が描かれた。

- | | | | |
|---|----------|---|----------|
| ① | I—II—III | ② | I—III—II |
| ③ | II—I—III | ④ | II—III—I |

問3 下線部(b)について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 3

- ① 天平文化の代表的な美術品には、密教の強い影響を受けた曼荼羅がある。
- ② 白鳳文化には、最盛期の唐文化の影響が認められる。
- ③ 日本や新羅は、中国の文物や制度を取り入れて中央集権化を進めた。
- ④ 僧玄昉は、中国への留学から帰国後、国博士として改新政治に尽力した。

問4 下線部(c)の人物や彼の周辺の人々について述べた文として**誤っているもの**を、次の①～④のうちから一つ選べ。 4

- ① 彼と崇徳上皇の対立に摂関家の内紛が結びついて平治の乱が起こった。
- ② 彼の近臣らは、鹿ヶ谷で平氏打倒の陰謀を企てた。
- ③ 彼の息子高倉天皇は、平清盛の娘を中宮とした。
- ④ 彼の息子以仁王は、源頼政とともに平氏打倒の兵を挙げた。

B 中世の芸能は仏教と深いかかわりを持ちながら展開した。たとえば、ウの開祖である一遍は、遊行の旅をしながら、行く先々で踊り念仏を興行して教えを広めた。踊り念仏は民衆の間に根をおろし、各地で盆踊りや民俗芸能として受け継がれていった。

中世の後半には、(d)茶の湯や生花・連歌など現在の伝統芸能につながるものの多くが形づくられた。寺社の祭礼・神事に奉仕してきた芸能の座は、しだいに宗教性を薄めて、芸能それ自体を娯楽として提供する集団へと性格を変えていった。このようななかで、大和のエの一座から出て(e)能を大成したのが観阿弥・世阿弥父子である。能は、雑芸や歌舞のもつ諸要素に演劇性を加えた総合的な芸能として隆盛をみた。(f)16世紀の^{びょうぶ}風絵には、当時の能舞台の様子を描いたものがある。

問5 空欄ウ エに入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

5

- ① ウ 時宗 エ 猿楽 ② ウ 時宗 エ 曲舞
- ③ ウ 浄土宗 エ 猿楽 ④ ウ 浄土宗 エ 曲舞

問6 下線部(d)について述べた文として**誤っているもの**を、次の①～④のうちから一つ選べ。 6

- ① 二条良基が正風連歌を確立した。 ② 村田珠光が侘び茶をはじめた。
- ③ 千利休が茶の湯を大成した。 ④ 池坊専慶が生花を芸術的に高めた。

問7 下線部(e)に関して述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 7

- ① 観阿弥・世阿弥父子は、足利義政の保護を受けながら活動した。
- ② 世阿弥は、能の理論をまとめた『風姿花伝』を著した。
- ③ 世阿弥の能は、強い風刺性と軽妙で滑稽な^{こっけい}しぐさを特徴とした。
- ④ 世阿弥は、能に三味線を用いて人気を集めた。

問8 下線部(f)の時期に起こった出来事について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 8

- ① 屋久島に漂着したポルトガル人によって、鉄砲が伝えられた。
- ② 安芸の国人から身をおこした毛利元就が、中国地方で勢力を伸ばした。
- ③ 北条早雲が、領国支配のために甲州法度之次第を制定した。
- ④ 細川氏と山名氏が日明貿易の利益をめぐる争い、寧波の乱が起きた。

C 江戸時代の村社会には「オ」とよばれる村の取り決めた休日があり、その代表的なものに田植えあとの「農休み」などがあつた。(g)農事に結びついて定着した年中行事の実施日の多くが、こうした休日となつたのである。

「オ」の日数は江戸時代を通じて増加していったが、これは若者組をはじめとする村人が村芝居などの(h)娯楽を求め、休日の増加を要求した結果である。

一方で、寺社参詣も娯楽的な側面をもつようになった。伊勢参りや金毘羅参りはその代表的なものである。とりわけ、(i)伊勢神宮への「おかげまいり」は1771年と1830年に爆発的に流行した。また、各地の聖地や霊場をまわる「カ」も、信仰とともに行楽としての要素をもつようになった。

問9 空欄「オ」「カ」に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

9

- | | | | | |
|---|---|-------------------------|---|-----|
| ① | オ | 祝日 <small>しゅくじつ</small> | カ | 巡礼 |
| ② | オ | 祝日 | カ | 地藏講 |
| ③ | オ | 遊び(の)日 | カ | 巡礼 |
| ④ | オ | 遊び(の)日 | カ | 地藏講 |

問10 下線部(g)に関して、当時の農業について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。10

- ① 牛馬耕が開始された。
- ② 『農業全書』などの農書が著された。
- ③ 草木灰や厩肥などの購入肥料が普及した。
- ④ 備中鋤の普及により、脱穀作業が効率的になった。

問11 下線部(h)に関して、江戸時代の庶民の娯楽について述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。11

- ① 江戸・大坂など都市の庶民の間では、銭湯や髪結床は娯楽の場であつた。
- ② 浄瑠璃にあわせて人形を操る人形浄瑠璃が流行した。
- ③ 喜多川歌麿の錦絵が庶民を楽しませた。
- ④ 往来物は、旅についての解説書である。

問12 下線部(i)に関連して、1771年から1830年の間の対外関係にかかわる出来事として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。12

- ① 幕府は、オランダ商館を平戸から長崎に移した。
- ② 新井白石は、朝鮮通信使の待遇を簡素化した。
- ③ アメリカのペリーが浦賀に来航し、開国を要求した。
- ④ 幕府は無二念打払令を発し、異国船対策につとめた。

【解答】

A

問 1 ②

問 2 ③

問 3 ③

問 4 ①

B

問 5 ①

問 6 ①

問 7 ②

問 8 ②

C

問 9 ③

問 10 ②

問 11 ④

問 12 ④